

# 理想の翼

岩手県立千厩高等学校

URL : http://www2.iwate-ed.jp/sen-h/  
〒029-0855  
岩手県一関市千厩町千厩字石堂 45-2  
事務室 TEL 0191-53-2091  
FAX 0191-52-3170  
平成 29 年 2 月 7 日発行 No21(12月号)

## 質実剛健・文武両道

校章は、桑葉に生糸を配したものである。桑樹は、生命力が旺盛にして強靱、生糸は、純粋無垢、優美高尚の象徴である。即ち、本校の礎が堅固であり、絶えず進展、躍動する青春を意味する。2017年2月7日 No.21(12月号) 岩手県立千厩高等学校校報(発行者 校長)

### 祝 第7回いっしょに読もう! 新聞コンクール

- ・発表：全国審査>平成 28 年 11 月 25 日 (金)
- ・テーマ：「先人からの知恵脈々」
- ・受賞：奨励賞 鎌田亜紗枝さん(全国入賞)

### 祝 第7回いっしょに読もう! 新聞コンクール

- ・発表：県内審査>平成 28 年 12 月 6 日 (火)
- ・岩手賞：千葉あゆみさん「もっと話したかった」
- ・優秀賞：千葉 一穂さん「一緒に遊び 親子成長」

日本新聞協会は 11 月 24 日、同協会主催の「第7回いっしょに読もう! 新聞コンクール」全国入賞者を発表し、本校2年鎌田亜紗枝さんの作品が「奨励賞」を受賞しました。応募総数 45,366 (小学校 7,590、中学校 20,064、高校・高等専門学校 17,712) 編、最優秀賞3 (小1、中1、高1) 編、HAPPYNEWS 賞1編、優秀賞30 (小中高各 10) 編、奨励賞 120 (小中高各 40) 編が選ばれました。おめでとうございます。

日本新聞協会主催の「いっしょに読もう! 新聞コンクール」に先立ち、県内作品審査が行われました。その結果、本校2年の千葉あゆみさんの作品が県内最高賞の「高等学校の部 岩手賞」に輝きました。また、「高等学校の部 優秀賞」に、本校2年の千葉一穂さんの作品が選ばれました。おめでとうございます。



**表彰状**  
いっしょに読もう! 新聞コンクール  
奨励賞  
岩手県立千厩高等学校  
鎌田 亜紗枝 殿

あなたの応募作は第7回いっしょに読もう! 新聞コンクールで優れていると認められました。今後一層の活躍と新聞により親しんでもらえることを期待しここに奨励賞を贈り表彰いたします。

平成 28 年 12 月 10 日  
一般社団法人 日本新聞協会  
NIE委員会  
委員長 小島 明彦



**賞状**  
高等学校の部 岩手賞  
千葉あゆみ 殿

あなたは平成28年度「いっしょに読もう! 新聞コンクール」において、新聞の成績をおおむねのよさを賞します。

平成 28 年 12 月 6 日  
岩手県立千厩高等学校  
校長 川村 久子

【右上の記事(平成28年11月25日岩手日報)は、岩手日報社の許諾を得て転載しています。】  
問題解決型の学力の向上にとって、新聞を題材とした学習は最も効果的なものである。新聞が扱っているのはつねに現実の問題である。社会にはすでにたくさん問題がある。それを新聞は示してくれている。現実をしっかりと見据え、事実に基づいて、どうしたらよいのか皆で考える。事実を共有しないで思い込みで議論していても、さしたる成果は得られない。偏見をできるだけ排除し、互いの議論のベースとなる事実を確認した上で話し合いをする。これが問題解決のための議論のルールである。  
齋藤孝『新しい学力』(岩波新書)より抜粋

【右の記事(平成28年12月7日岩手日報)は、岩手日報社の許諾を得て転載しています。】  
を贈っている。小野君は「盲導犬同伴を拒否しないで」という記事から「相手が必要」という記事を知ることで「大切」と意見を始め、馬場君は中学校の部活漬けの現状について教師の視点から考察。千葉さんは本報掲載1月の記事を読んだ。当日前の生活のありがたを訴えた。

**第7回「いっしょに読もう! 新聞コンクール」「奨励賞」受賞**  
千厩高等学校2年 鎌田 亜紗枝 「先人からの知恵脈々」  
(岩手日報 2016年5月19日付朝刊)

- この記事を選んだ理由と、記事を読んで思ったこと、考えたことを書いて下さい。  
私がこの記事を選んだ理由は、「歌で津波の教訓を受け継ぐ」という言葉と、写真が日本人だけではなく、外国でも津波の経験を語り継いでいるんだと感心したから。地震がきたときに「も歌にするなどして定着させる必要がある」と。津波を経験した先人たちの知恵が今この自分たちを救っているところに、経験を語り継ぐ大切さを感じた。自分にできることは、募金や支援活動だけでなく、震災の経験を語り継ぐことが最も大切なのではないかと。それは震災を経験した一人ひとりに伝えていく責任があると思う。語り継ぎ、伝えることで、ディヒト村のような温かい人間関係を築いていくこともつながる。この記事から「伝える」ということの大切さを感じ、また、村人が一つになり、助け合う温かさを感じた。
- 家族や友だちなどにも記事を読んでもらい、その人の意見を聞きとって書いてください。  
私の友人は、「昔からの伝統が自分たちの命を救っているのは、昔の経験があったからこそであり、その教訓を受け継いで、今の平和な村があるんだ」と言っていました。
- 話し合った後のあなたの意見や提案・提言を書いてください。  
2004年のスマトラ沖地震で被害を受けたディヒト村が犠牲者を出さずに乗り越えられたのは、先人たちの知恵を受け継いだ「スモン」のおかげだろう。そのスモンを儀式や祭り、子守歌として聞かせるなど生活に根ざし、一人ひとりに定着させることも大切。「てんでんこ」も歌にするなどして定着させる必要があると思う。津波を経験した先人たちの知恵が今この自分たちを救っているところに、経験を語り継ぐ大切さを感じた。自分にできることは、募金や支援活動だけでなく、震災の経験を語り継ぐことが最も大切なのではないかと。それは震災を経験した一人ひとりに伝えていく責任があると思う。語り継ぎ、伝えることで、ディヒト村のような温かい人間関係を築いていくこともつながる。この記事から「伝える」ということの大切さを感じ、また、村人が一つになり、助け合う温かさを感じた。

**第7回「いっしょに読もう! 新聞コンクール」「岩手賞」受賞**  
千厩高等学校2年 千葉 あゆみ 「もっと話したかった」  
(毎日新聞 2016年5月17日付朝刊)

- この記事を選んだ理由と、記事を読んで思ったこと、考えたことを書いて下さい。  
私がこの記事を選んだ理由は、「もっと話したかった」という見出しにひかれたから。記事を読んでみると、今こうして何もなく生活できていることは当たり前なことではないことを感じさせられた。また、熊本市の自宅にあるはずだった和子さんの結婚式の写真が土砂の中から見つかったという文章から、土砂崩れに巻き込まれて亡くなった友光さんの家族に対する愛情や優しさ伝わってくる悲しいがあなたにかみのある記事だった。
- 家族や友だちなどにも記事を読んでもらい、その人の意見を聞きとって書いてください。  
友人は「日々の会話は当たり前のことだけ大切にしていきたい。」「何かあったとき、手遅れにならないよう生活していくべきだ。」「亡くなってしまった友光さんは普段は怖そうだったのが実は誰よりも家族を愛していたことが伝わってきた。」「感動した。」「毎日感謝しながら生活していきたい。」と話していた。
- 話し合った後のあなたの意見や提案・提言を書いてください。  
やはりこれから大切にしていきたいことは、「当たり前を当たり前にしていく」ということだと思ふ。例えばスマートフォン。スマートフォンは現在多くの人が利用しており、普段何気なく使っている人がほとんどだろう。しかし、もしまたどこかで地震が起き、スマートフォンが壊す、大切な人との連絡が取れなくなったら。当たり前前の生活を当たり前前にしないことで何かあった時に備えることができる。実際に5年前、私たちは東日本大震災を経験した。その時、普段は何気なく使っていた電気や火を利用することができなくなった時感じた。今ある生活を大切にしよう。気づいてからはおそいということ。だから私は今生きていることに感謝してこれからは生きていこうと思ふ。

【今後に向けて】第7回「いっしょに読もう! 新聞コンクール」での本県関係の全国入賞(奨励賞)者数は、岩手大学教育学部附属中学校から2人、不來方高校から1人、そして千厩高校から1人の計4人です。今後も自分一人の感想・意見の表現だけではなく、周囲の意見を聞いて、より深く考える機会をもちましよう。

【予告】第10回せんまやひなまつりが、平成29年2月11日から3月3日の間、大正ロマン漂々千厩酒のくら交流施設(国有文化財旧佐藤家住宅・旧横屋酒造)を中心に開催されます。本校からは、華道部の演奏、茶道部によるお茶会、生産技術科の生徒による花の販売や手作りつるし雛の展示などで、桃の節句に花を添えます。



# 岩手県立千厩高等学校グラウンド整備工事

知・情・意・体の育成環境整備 平成32年度中の全面完成に向け動き出す！

長年の懸案事項であった「岩手県立千厩高等学校グラウンド整備工事」も具体的に動き出しました。平成28年10月20日から平成30年1月5日頃まで造成工事が行われます。これは、山を切り崩し、土砂の一部を圃場整備と第1グラウンドの造成に使用する工事です。沈下促進期間を平成30年6月頃までとし、7月から残土搬出工事を行い、その後第1グラウンド（硬式野球場、ソフトボール場、テニスコート）の工事を実施し、平成32年度中の完成を予定しています。なお、平成33年度は本校創立120周年にあたります。

一方、弓道場は、一足早く、平成29年の10月頃には使用できるようになります。また、畑は平成28年度中に整備を終え、実習圃場については平成29年度末の使用開始となります。さらに、第2グラウンドの修復工事と部室・トイレの建設工事は、平成30年度に予定されています。生徒諸君にとって、学習・部活動・進路等において自らの目標に向け努力することは勿論のこと、将来の千高生のためにも努力をしなければならないという気概と自覚を持ち続けることがこれからの使命となります。

## 岩手県立千厩高等学校グラウンド整備工事完成予想図



年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度
本校創立(年)	114	115	116	117	118	119	120
グラウンド整備	設計						
造成工事		積算業務	造成工事	沈下促進			
第1グラウンド 第2グラウンド修復 圃場整備		畑整備	実習圃場整備 弓道場	第2グラウンド修復 工事	工事	第1グラウンド工事 Baseball Softball Tennis	本格使用

### 祝 平成28年度進路状況 (2017/2/7 現在)

- ・就職：2016/11/30に就職内定100%達成(内定者数97人)
- ・進学1：推薦・AO入試→合格者数46人(2017/2/7/現在)
- ・進学2：国公立・私立大等一般入試を含めた結果は3月号に掲載予定

### 祝 平成28年度就職状況 (2016/11/30 内定100%達成!!)

- ・内定：97人(卒業予定者数の50.5%)；企業名は3月号に掲載予定
- ・特徴1：内定者の57%が県内へ〔管内54%(52人)、管外3%(3人)〕
- ・特徴2：卒業予定者数(192人)の約29%が管内に内定!!

下記①は、平成29年2月7日現在の進路状況です。進学では、推薦・AO入試で合格を決めた生徒(46人)と一般入試を控えている生徒の総数は94人で、卒業予定者数(192人)の49%に相当します。一方、就職では、卒業予定者数の約51%に相当する97人が、平成28年11月30日に内定100%を達成しました。また、下記②に示した通り、管内へは52人が内定しました。これは卒業予定者数の約29%に相当します。採用いただきました各社に感謝申し上げます。尚、下記③～⑦は平成29年2月7日現在の推薦・AO入試合格者数と学校名一覧です

#### ③ 推薦・AO入試(国公立大学合格者:10人)

- 北見工業大学工学部 1人
- 秋田大学理工学部 1人
- 福島大学共生システム学類 1人
- 岩手県立大学総合政策学部 1人
- 釧路公立大学経済学部 1人
- 北海道教育大学釧路校教育学部 1人
- 青森公立大学経営経済学部 1人
- 都留文科大学文学部 2人
- 名寄市立大学保健福祉学部 1人

#### ① 平成28年度進路状況(192人)



#### ② 平成28年度就職状況(97人)



#### ⑦ 推薦入試(医療系専門学校合格者:5人)

- 仙台医療センター附属仙台看護助産学校 看護学科 1人
- 一関高等看護学院 看護学科 1人
- 岩手医科大学医療専門学校 歯科衛生学科 3人

#### ④ 推薦入試(私立大学合格者:6人)

- 盛岡大学栄養学部 1人
- 文教大学人間科学学部 1人
- 東北学院大学経済学部 1人
- 東北文化学園大学医療福祉学部 1人
- 東北福祉大学教育学部 1人
- 創価大学看護学部 1人

#### ⑤ 推薦入試(短期大学合格者:5人)

- 山形県立米沢女子短期大学 英語英文学科 1人
- 盛岡大学短期大学部幼児教育学科 1人
- 聖和学園大学短期大学部 キャリア総合開発学科 1人
- 東北生活文化大学短期大学部食物栄養 1人
- 修紅短期大学食物栄養学科 1人

#### ⑥ 推薦入試(各種専門学校合格者:20人)

- 仙台大原簿記情報公務員専門学校 1人
- 赤門鍼灸柔整復専門学校 1人
- 北日本医療福祉専門学校 1人
- 仙台ビューティーアート専門学校 1人
- 仙台理容美容専門学校 1人
- 専修大学北上福祉教育専門学校 1人
- 仙台ウェディング&ブライダル専門学校 1人
- 北日本ハイテクニカルクッキングカレッジ 1人
- 仙台医療秘書福祉専門学校 1人
- 岩手県立千厩高等技術専門学校 4人
- 岩手県立産業技術短期大学校水沢校 3人
- 花壇自動車大学校 1人
- 岩手県立農業大学校 1人
- 東京商科法科学院専門学校 2人